

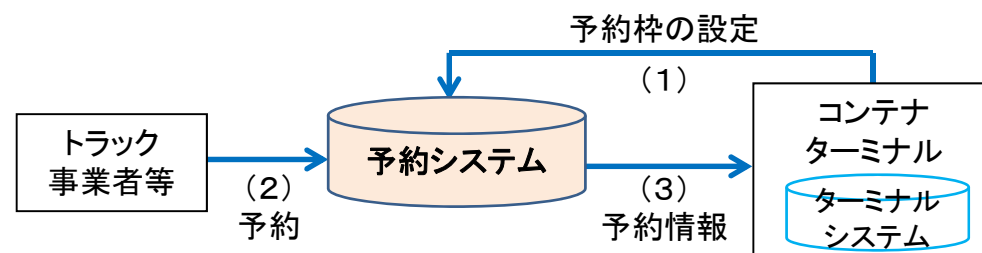
コンテナ搬出入予約制について

- 国際コンテナ戦略港湾では、コンテナ取扱量の増加に伴い、コンテナを搬出入するトラックによる渋滞が恒常的に発生。
- 渋滞緩和の対策として、これまでも、コンテナターミナルの容量拡大・処理能力向上、ゲート前のウェブカメラ映像の提供等の取組みを総合的に推進。
- 今般、ITを活用した効率的なコンテナ搬出入の実現を目指し、横浜港において、予約制の導入を検討。

コンテナターミナル前の渋滞状況の一例



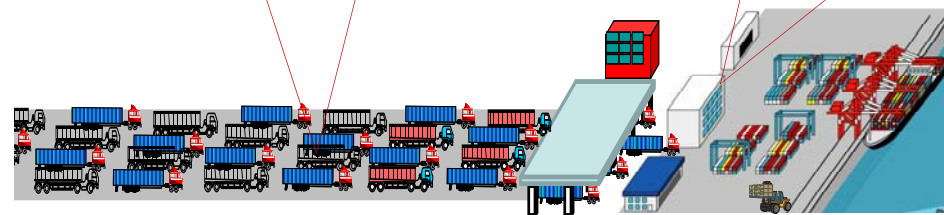
予約制のイメージ



予約制の導入による効果

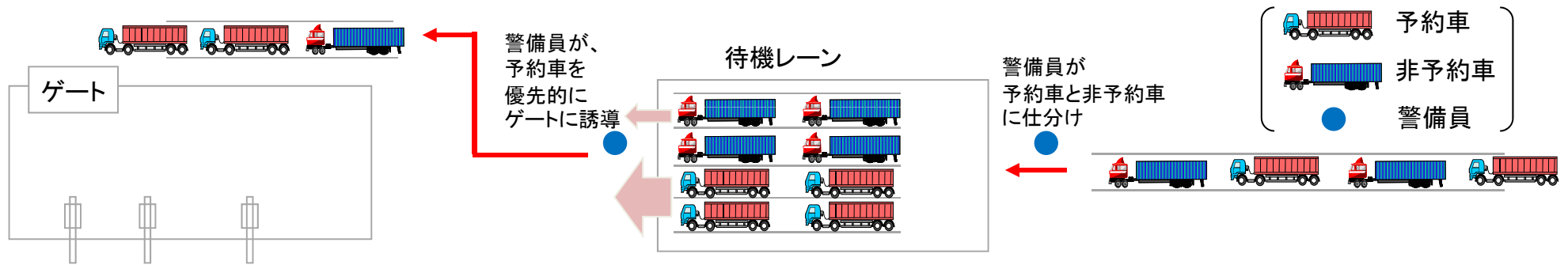
①コンテナ搬出入の
繁閑の平準化

②予約情報に基づく
荷役作業や
ゲートレーンの
運用の効率化



1. 予約システムで予約時間帯(※上限台数なし)を設定する。
 (予約時間帯) 本牧 8:30~10:00/10:00~11:30/13:00~15:00/15:00~16:30 (土曜は15:00まで。)
 南本牧 8:30~10:30/10:30~13:00/13:00~15:00/15:00~16:30 (" ")
2. トラック事業者は、予約システム上で、前日までにコンテナの搬出入を予定する時間帯に予約を入れる。
3. 予約車は、当日予約した時間帯にコンテナターミナルに到着する。
4. トラックが待機レーンに入る前に、警備員が予約車と非予約車に仕分けする。
5. トラックが待機レーンから出る際に、警備員が予約車を優先的にゲートに誘導する。

《プレ実証実験のイメージ》



《プレ実証実験の実施場所》



＜参加についての問い合わせ先＞

- ・(Web) <https://cs-link.net/>
- ・(電話) 045-211-7437

関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室